

令和8年度 技術監理局X方針について

■ 局区X方針とは

(概要)

局長・区長等を中心に局・区の経営的課題を自己点検し、変革課題とその解決に向け当該年度の取組事項を定めたもの。

(目的)

- ・局長級職員のリーダーシップ発揮による自律的な変革の推進
- ・局内職員への変革マインドの意識づけ
- ・外部公表による市政変革に関する市民への理解浸透と検討過程の透明性の確保

なお、取組みの進捗によって、抽象的な課題がより具体化した場合等で、課題の追加・変更が必要となれば、進捗等の公表にあわせて、適宜X方針を修正する。

■ 技術監理X方針について

(1) 課題数 全2件

課題領域	Aレベル	Bレベル	Cレベル
課題数	—	2件	—
政策分野	—	公共工事、契約事務	—

Aレベル : 行政サービスにおける現場の改善等にかかる課題

B・Cレベル : 政策的な変革課題 (Cはより広域、将来を見据え、全庁横断的な視点を要する等)

(2) 主な課題・取組内容等

・課題B 次世代のまちづくりを支える担い手育成と組織基盤の確立 (資料1のP3)

○次世代のまちづくりを支えるためには、建設業界および行政技術職員の双方で深刻化する人材不足への対応が必要。

○インフラの老朽化が進行する中、持続可能な維持管理体制の構築が急務。

○そのため、R8年度については、以下の取組を行う。

【令和8年度取組内容】

- ・地元建設業の魅力発信強化
- ・市役所技術職員の確保・育成及び組織力向上
- ・公共施設マネジメント基本計画 (社会インフラ版) 見直し案作成と各個別施設計画への展開

・課題B 契約事務及び公共工事における設計業務のDX推進（資料1のP5）

- 契約事務及び公共工事設計業務においては、業務の複雑化と人材不足が進行する中で、従来型の業務プロセスでは対応が困難となりつつある。
- 全庁的に契約事務及び設計業務のDX化による業務の効率化と標準化を推進することで、市、事業者双方の事務負担を軽減するとともに、組織としての技術力向上と持続可能な行政運営の実現を図る必要がある。
- そのため、R8年度については、以下の取組みを行う。

【令和8年度取組内容】

- ・次期契約システム等の構築及び契約制度の見直し
- ・設計業務システムの構築